中期経営計画

当社は2023年度より3カ年の新たな中期経営計画を策定・スタートいたしました。本中期経営計画においては、各市場の変化への対応に向けた各主要推進項目の取り組みに合わせ、主に半導体業界向け事業を将来の成長ドライバーとして注力することで、安定的な収益を実現できる事業ポートフォリオの構築に努めてまいります。また、かねてより取り組んでおります次世代モビリティ・次世代エネルギー市場に向けた「環境・省エネに資する次世代独自技術製品」の開発も継続し、各市場に提案することで、本計画の達成を目指すとともに中長期的な成長を果たしてまいります。

基本方針

持続性ある企業体質の構築 ～ Fly Sky High! ～

期間

2023年度～2025年度

主要推進項目

1. 変化への巧緻的対応
2. ESG経営
3. 永遠のゼロ ―「顧客から信頼される製品品質の確保」、「世界同一品質の確保」の実現
4. TCD／ムダ半 ―「Total Cost Down」「ムダの排除～すべてを半分に～」
5. DXの推進
6. 次世代独自技術製品
7. 人間尊重／人財育成

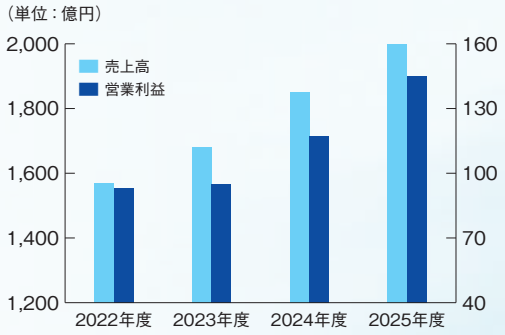
最終年度業績目標（2025年度）

- 売上高 **2,000億円**
- 営業利益 **145億円**（営業利益率 7%以上）

売上・営業利益目標

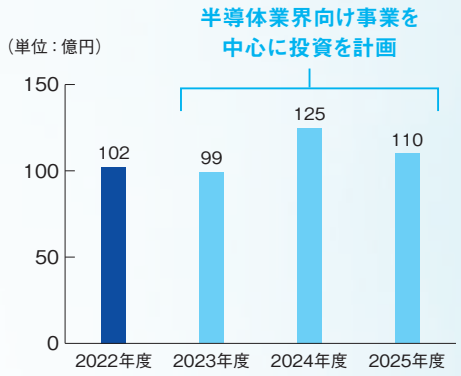
（単位：億円）

	2023年度	2024年度	2025年度
売上高	1,680	1,850	2,000
営業利益（営業利益率）	95（5.7%）	117（6.3%）	145（7.3%）



設備投資計画

新中期経営計画期間中の設備投資は、半導体業界向け事業を中心に330億円を計画しております。



資本政策の基本的な方針

当社の基本的な資本政策の方針は、財務の安定性・健全性を担保した上で、企業価値の持続的向上を図ることを目的に策定しております。
企業価値向上を図る指標としては、EVAスプレッド（ROIC-WACC）とし、ROICの向上とWACCの適正化を進め、事業の付加価値を高めていきます。
併せて、株式価値向上を目指すべく、エクイティ・スプレッド（ROE-資本コスト）を管理指標として、株価、資本コストを意識した経営を進める方針です。
また、高い財務健全性および対外信用力を担保するために必要な自己資本比率を設定し、自己資本が一定のレベルを超過する際には積極的に株主還元を進めることで、資本コストの適正化を図り、ROEの向上を目指します。
そして、将来の収益確保に向けた成長分野への投資においては、資本コストを基準としたハードルレートを設定し、キャッシュフローの正味現在価値、内部収益率を慎重に算定した上で投資を厳選してまいります。
事業での売上高利益率の向上、総資産回転率の良化、財務レバレッジの活用といった一連の施策を通じて、中長期的にはROE10%の達成を果たし、結果としてPBRの改善を図ってまいります。

中期経営計画期間中の株主還元について

上記の資本政策に関する方針に基づき、中期経営計画期間中には総額180億円を目安とした株主還元の実施を計画しております。

（1）自己株式の取得
総額約120億円の自己株式の取得を実施
（取得時期等については経営状況および市場株価を勘案し、適宜決定）

（2）配当
DOE2.5%以上、各期年間70円の配当を継続